

Communication Media クリエーション :CITIZEN's FA View, Spring 2010

CREATION

No. 9

Cincom Evolution

Cincom 80th Miyano
ANNIVERSARY

Cincom Evolution

CITIZEN
Micro HumanTech

変貌する時代と市場環境をとらえ、お客様に、新時代のソリューションを。

経済・産業界をとりまくこれまでにない激しい変化の只中にある日本のモノづくり業界。中国を中心とする海外への生産拠点のシフトが進み、よりいっそうの低コスト化や環境対応型の生産システムの構築が求められるなか、主軸台移動形・主軸台固定形それぞれのCNC自動旋盤トップクラスのメーカーとして、協業による成果を挙げるシチズンマシナリーとミヤノ。新時代のソリューションを提供する両社トップが語るお客様への思いをご紹介します。

革
新
す
る
シ
チ
ズ
ン
マ
シ
ナ
リ
ー
株
式
会
社
の
新
た
な
ソ
リ
ュ
ー
シ
ョ
ン
を
生
産
シ
ス
テ
ム
へ
新
た
な
ソ
リ
ュ
ー
シ
ョ
ン
で
革
新
す
る
シ
チ
ズ
ン
マ
シ
ナ
リ
ー
株
式
会
社
へ



シチズンマシナリー株式会社
代表取締役社長 杉本 健司

昨年度の工作機械業界は、ご承知の通り世界的不況の影響をダイレクトに受け、また後半の円高の影響もあってピーク時の約1/4の規模にまで落ち込む極めて厳しい一年でした。いましばらく、緩やかな市況好転の基調が本格的な回復に姿を変えつつあるという確かな期待感と、それとは逆に、まだまだ厳しさを続く国内経済環境に対する身の引き締まる思いの双方を胸に抱きつつ新年度を迎えました。

変貌する市場環境をとらえて

私たちをとりまく市場環境は、以前とはまったく異なる姿に確実に変貌しつつあります。まず、昨年自動車の生産・販売台数において中国が日本を抜き1位になったことはご承知の通りですが、工作機械の生産額も、日本は27年間維持続けてきた世界の座を中国に明け渡し、ドイツにも抜かれ3位に転落しました。これは、生産・消費の主体が中国を中心とした新興国へ加速度的にシフトしていることの象徴的な結果であるとともに、日本国内の製造業が、このままではやがて衰退空洞化するという危機感を、改めて感じさせる事実であると思います。

また、2020年の温室効果ガス排出量を1990年比25%削減すると昨秋のサミットで場

山首相が公約されましたが、大幅な省エネルギー・省資源はいまや企業にとって当然の義務と考えなければならなくなっています。これは私たちのように切粉を出して稼ぐ、金属切削加工を生業とする企業にとっては、大きな事業変革を迫られる事実であるといっても過言ではないでしょう。

自ら変化し未来を切り拓く 絶好の機会

このように私たちはいま、「グローバル化に伴うアジアシフト」「環境配慮型生産システム」に代表される21世紀型の新たな社会経済システムへの大きな変革の真只中にあります。この潮流は私たちが自らを変革せず、いまのままあるとすれば大変な脅威である一方で、見方を変えれば自ら変化し新しい未来を切り開く絶好の機会でもあり私は信じています。1970年代初頭にカム式自動盤のNC化という大変革をリードした当社ですが、旋盤業界にとっても、それ以来の大きな転換期であり、現在のNC自動旋盤を「再定義」する時期にきたともいえるでしょう。このような環境下における、2010年度のシチズンマシナリーの基本スタンスを以下に記します。

お客様のモノづくり 新しい時代のソリューションを

シチズンマシナリーとミヤノは昨年来「Aggressive Defense 2009」と銘打ち、事業拠点の統廃合による効率向上、工場現場力強化活動による生産革新とリードタイム短縮、生産拠点機能の再配置によるコスト構造改革等の全社的な事業構造改革を推進してきました。今年度は、構造改革を通じて筋肉質に生まれ変わった事業体質を基盤に、守備中心から、より攻撃的な位置にスタンスを変え、お客様のモノづくりに対する新たなソリューションを積極的に提案していきます。そのキーワードはEvolution（進化）とInnovation（革新、新機軸）です。

Evolutionは、前述のような環境変化に柔軟に対応できる自らの変化、すなわち「進化」を意味しており、具体的にはお客様のニーズにマッチした商品の高コストパフォーマンス化を実現していきます。従来の「機能・性能が上

がっていけば価格が少々高くてもしかたない」という固定観念を打破し、とにかく機能単位あたりの価格（コスト）を大幅に下げることが、この環境変化のなかでお客様に提供できる第一の便益である、という考え方に転換しました。すでにL20E、K12/16Eといった、大幅な低価格化を実現した新商品を発売し、おかげさまで高評価をいただいておりますが、今後もお客様に納得していただける価格と機能のベストバランスを追求し続けていく所存です。

一方Innovationとは、変革の時代において他に先んじて部品加工の新たな環境を創造する「革新」を意味します。単なるモノづくりによる価値提供にとどまらない、お客様が生産システムの革新を実現する手助けとなるトータル手段（ソリューション）を提案できる「新・モノづくり企業」への変革です。これまでの自動旋盤の型や思想にとらわれることなく、小型化、加工スピードといったシチズンの特長と、剛性、カスタマイズ力といったミヤノの特長を融合し昇華させて部品加工の新たなフロンティアを提案していきたいと考えています。

お客様の危機意識は、 私たちの危機意識

お客様と危機意識を共有し、いっしょに未来を切り開く…この「やりたいことやるべきこと」実現のために私たちが「まずやれること」として、当然のことではありますが、お客様とのコミュニケーションをいままで以上に密にし、商品やサービスに対するご要望へのスピーディな対応を、実直に、そして地道に、実行していきます。

シチズンとミヤノ、その総力を結集して 新たな付加価値をご提案

シチズンは今年創立80周年の節目の年を迎えました。ミヤノは1年先輩（今年81年目）ですが、この2010年を2社共同の80周年Yearとして、次世代に向けたスタートの年と位置づけています。シチズンマシナリー、ミヤノ各々の持つ力を結集し融合することで、他社にはない、新たな付加価値の創出に邁進し、展示会をはじめさまざまなイベントを通じて、みなさまに提案していく予定です。新生・シチズンマシナリー&ミヤノにぜひご期待いただきたいと思ひます。●



新
時
代
の
到
来
に
向
け
て
お
客
様
、
そ
し
て
私
た
ち
の
変
革
の
時



株式会社 ミヤノ
代表取締役社長 齊藤 佳春

一昨年に発生した世界金融危機以降、工作機械業界は深刻な経済不況に見舞われ、ミヤノもその例外ではなく昨年5月に本社移転、工場集約、人員削減等、過去最大の規模となる事業構造改革を決意し、その実行に努めました。そのため前年度は非常に厳しい年となりましたが、これをマイナスとしてではなく2010年度以降の準備を他社に先駆けて行なえたと前向きに考えています。

市場、産業構造の 大きな変化のなかで

最近の市場動向を見ますと、外需の拡大により大手製造業を中心に業績回復を果たした企業が増加し、各経済指標が改善するなど景気の二番底の懸念が払拭された状況にあります。弊社が所属する日本工作機械工業会においても、その統計で3月の受注総額が750億円を超えるなど回復を見せ始めています。

しかし、これは欧米を中心とした先進国が主導する形での景気回復ではなく、中国を中心とした新興国経済の成長に牽引されるものであり、従来とは明らかに様相が異なるといえます。また、産業界では電気自動車、環境・エネルギービジネスなどの新産業が注目されて

おり、今後、市場構造、産業構造はさらに大きく変化していくと思われれます。

「奉仕の精神」を、 新たな時代にも変わりなく

弊社は創業以来、お客様、地域社会に対する「奉仕の精神」をモットーにしており、カム式自動旋盤からNC自動旋盤に至る開発、生産、販売の歴史において、「奉仕の精神」を発揮することで数多くのお客様に安心と信頼ある機械を提供し、産業界の発展に貢献してきたと自負しております。それが弊社の「企業理念」である「ミヤノは、ものづくりを通じて、顧客、土地、従業員、株主の発展に寄与し、共に栄える企業を目指す」です。そしてこの理念はいかに激しく時代が変わろうとも、変わることなく引き継がれていくことでしょう。

また、いままで以上のお客様に対する価値提供と企業発展のため、2007年にシチズングループの一員となり、以来シチズンマシナリーとのパートナーシップをスタート。年を重ねるごとに協業の度合いを深化させ、より緊密な連携により、お客様にお役立ていただける製品の開発を実現してきました。

新時代の生産システム革新の ソリューションを提供するため

変化の激しい時代にあっても弊社は中・小型主軸台固定形自動旋盤のトップメーカーをめざして、「奉仕の精神」を持ち続け、そしてシチズンマシナリーとの強力なパートナーシップのもと「Evolution」と「Innovation」をキーワードとして、未来に対し両社が見定める方向をしっかりと合わせ、従来の自動旋盤というモノづくりによる価値提供にとどまらず、生産システムの革新を実現するトータルソリューションを新たな価値としてお客様に提供することをめざしていきます。そして新たな価値を提供することでお客様の満足をより向上させ、引き続き産業界の発展に貢献していきたいと思ひます。

Evolution & Innovationの 実現をシチズンマシナリーとともに

その第一弾として、のちほど紹介させていただく「BNAシリーズ」を発表、発売いたしました。

「BNAシリーズ」はミヤノ従来機種と比較して、省スペース化、徹底したムダの排除により、生産効率を大幅に向上した点に大きな特色があります。お客様のニーズをきめ細かく伺い、その要望に基づいて機械の高コストパフォーマンス化を実現させました。弊社バー材加工の新たなスタンダードをめざして開発にあたった機種として、まさに「Evolution」を体現したマシンといえるでしょう。

弊社は「Evolution」にとどまらず「Innovation」にも果敢に挑戦いたします。シチズンマシナリーとの協業のなかで、両社のそれぞれの特長と秀でた技術の共有を進め、さらに高めていくことにより、新たな時代に突入しつつある部品加工の領域において、お客様の生産システムの革新とその構築にお役立ていただけるよう、「Innovation」の実現に邁進していきたいと考えています。

ミヤノ、シチズンマシナリーの 創業80周年のご提案にご期待ください

ミヤノは昨年、創業80周年を迎えましたが、構造改革の実行のため残念ながら何のイベントも行えませんでした。そのため今年は福島本社で80周年記念内覧会を開催すべく準備を進めております。また、秋には東京ビッグサイトでのJIMTOF 2010が控えております。今年シチズンも創立80周年ということで2社共同の80周年記念として国内外で展示会の共同開催をしております。

新たな時代を象徴する新製品群を取り揃え、みなさまに少しでも多くお役に立てていただけるような新たな提案をしていきたいと考えています。お客様とともに、「より一歩先の前へ」向かって全社一丸となって一生懸命取り組んでおります。今後ともミヤノとシチズンマシナリー両社を、なにとぞよろしくお願ひいたします。●

新たな環境を創造すること—それが「革新」。

Innovationとは、自らが進取ること—それが「進化」。

柔軟に対応する—andそれが「進化」。

Evolutionとは、環境の変化に

私たち、シチズンマシナリーとミヤノは、共通の開発方針としてEvolution & Innovationを掲げ、自動旋盤あるいは精密部品加工の現在と未来を、お客様とともに共有します。シンコムとミヤノは、このアクションをすでに具体化し、お客様にEvolutionを実感していただいています。

シンコムの歴史にもさまざまなEvolution & Innovation

これまでも私たちは、それぞれの時代における環境変化への対応と新たな環境の創造という意味で、さまざまなEvolution & Innovationを行ってきました。それらをシンコムの歴史からご紹介しましょう。まずは1970年、カム式自動旋盤が全盛の時代（環境）に、NC化をはかり新たな環境（NC自動旋盤の世界）を創造したモデルD16。シンコムは、このInnovationから誕生しました。1980年、その新たな環境を「画期的なツインタレットのFシリーズ」でビジネスの場（市場）に成長させ、新しい切削加工の世界に多くの賛同者を集めました。そして1986年、初代Lシリーズを発表。1994年には、NCの演算時間を最小化したプリプロ技術を搭載した究極の小型CNC自動旋盤ともいえるBシリーズへと進化を続けてきました。さらに、自動旋盤を自在に、最適に制御したいという思いと、NCの汎用性を統合した多軸多系統混合制御の開発により、新たな自動旋盤制御の概念を創造し、それを多軸自由制御（自由度の高い軸交換・重畳制御、周辺軸制御）、ムダ時間を排除したシンコムコントロールへと進化してきました。

Cincom & Miyano Evolution Line

いま、シンコムとミヤノは、お客様のニーズに正面からお応えするためにCincom Evolution Line（図1）と、Miyano Evolution Line（図2）の完

成に取り組んでいます。お客様に提供すべき最大のメリットを「妥協のないコストダウン」すなわち、「機能・性能が良ければその分価格は高くても良い」という概念を打破して、「単位機能あたりの価格を大幅に低減する」とこと確信し、これを実現しています。

Original Line（図1、2）は、革新を伴いながら、自動旋盤の歴史を切り拓いた製品群です。そして、Evolution Lineは、Original Lineを出発点にして性能・機能を維持向上しながら、価格の低減を実現しています。

シンコム（図1）では、φ12～16mmクラスでA12/16と、今春に発表したK12/16Eを、φ20～32mmのくし刃機ではA20、A32、そしてシンコムのベスト&ロングセラー機を進化させたL20EをEvolution Lineに加えしました。

一方、ミヤノ（図2）のEvolution Lineは、エンターモデルとして評価の高いBNCの機械サイズにBNDの機能・性能をパッケージングすると同時に価格低減を実現したBNAシリーズ。そしてミドルクラスで2スピンドル&2タレットのBNJシリーズは、アイドル時間の20%削減や操作性の向上により生産の向上をはかりました。また、Miyano Evolutionにふさわしい新しい機械デザインを採用しました。これらを皮切りにスピード感をもってEvolution Lineの充実をはかります。

Cincom & Miyano Innovation Line

もちろん、私たちは、決してEvolutionにとどまることはありません。小型CNC自動旋盤に、シンコムが起こしてきたInnovationを、この新時代にふさわしいソリューションとして提供してまいります。

シチズン シンコムとミヤノは、いまCNC自動旋盤が全盛の時代に、新たな環境（フロンティア）を創造しようとしています。シチズン シンコムとミヤノのInnovationに、どうぞご期待ください。

【シチズンマシナリー Evolution対象機紹介】

シンコムエボリューションラインL20E、K12/16E。開発機も、開発のあり方も進化の方向へ—シンコムの提案です。



シチズンマシナリーは2010年2月にEvolution対象機の第1弾としてL20Eを、続いて3月にK12/16Eを発表しました。これは、これまでシンコムで培ってきた、高品質・高性能・高機能を保持しながら、景気と市場の変容のなかでお客様が求める高コストパフォーマンスを重視した製品群を「シンコムエボリューションライン」として提案したものです。同時に、新たな環境に対応する私たち自身の変化と進化を決意するとともに、その具体的なアクションをお客様に提案するものでもあります。

必要なときに必要な製品を短期間で開発・提供

L20E、K12/16Eの開発チームは、昨年の秋頃に編成され、これまでにない大幅な短期間で開発を達成しました。それは、このシンコムエボリューションライン機を、いま、大きな変化の真只中にある市場に提供することで、その変化の波を受け止め、私たち工作機メーカーのあり方をも変革していくことでもありました。製品コンセプトの策定、開発・提案、そしてお客様のお手元へ、という一連の流れを、お客様にとって、また私たちにとって最も重要な時に絶妙のタイミングで実現できること。このことは、開発機自体の進化はもとよりシチズンマシナリーとシンコムにとっても、まさにEvolutionであると

感じています。

機械の頭脳を一新、最新NCとシンコムコントロールでさらにスピードアップ

シンコムエボリューションラインのL20E、K12/16Eはともに最新NC装置を採用、演算処理速度の高速化を実現しています。もちろん、従来機同様に、高速かつスムーズな動作を生み出すシチズン独自の制御方式シンコムコントロールにより、工程間のムダを徹底排除、アイドルタイムの削減もはかっています。さらに、32m/minの早送り速度の高速化と合わせて、サイクルタイムを大幅に短縮しました。

L20Eでは加工ワークに合わせて選べるVIII型・IX型をラインアップ

L20で好評の最大ツール取付本数32本の刃物台構成と多彩なツーリングをそのまま継承。背面刃物台回転工具駆動装置の有無で、VIII型とIX型の2種類をラインアップしています。豊富なツーリングが装着できるくし刃刃物台や、オプションのU124Bの搭載により100mmまでの深穴加工が行える対向刃物台は、VIII型・IX型とも共通です。

■複雑形状のワークに威力を発揮するIX型
L20E IX型では背面刃物台回転工具を標準搭載しており、背面での端面偏芯穴あけ加工に

対応するほか、スリッチングスピンドルを装着することで、背面側でのスリ割り加工も行えます。さらに、正面側・背面側の2次加工を並列して行うこともでき、複雑形状のワークでは特に効果を発揮します。

■コストパフォーマンスに優れたVIII型
背面側での2次加工が不要な場合、または、くし刃刃物台の回転工具で十分な場合には、コストパフォーマンスに優れたVIII型が適しています。

高コストパフォーマンスと扱いやすさ、さらにスピードアップしたK12/16E

シンコムエボリューションラインの第2弾として、高生産性・高精度・高剛性の従来機K12/16をさらにブラッシュアップし、求められる価格を実現したK12/16E。NC装置を一新するとともに操作性も大幅に向上しました。

■正・背面並列加工が行え、ツール交換もスピーディ

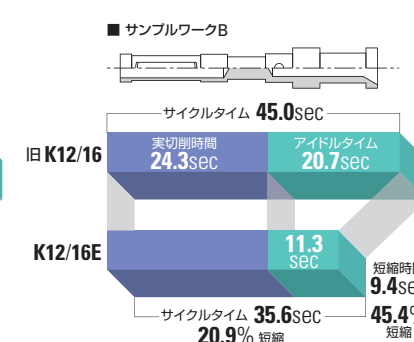
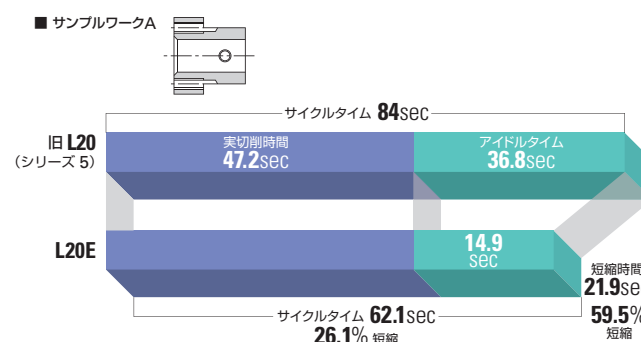
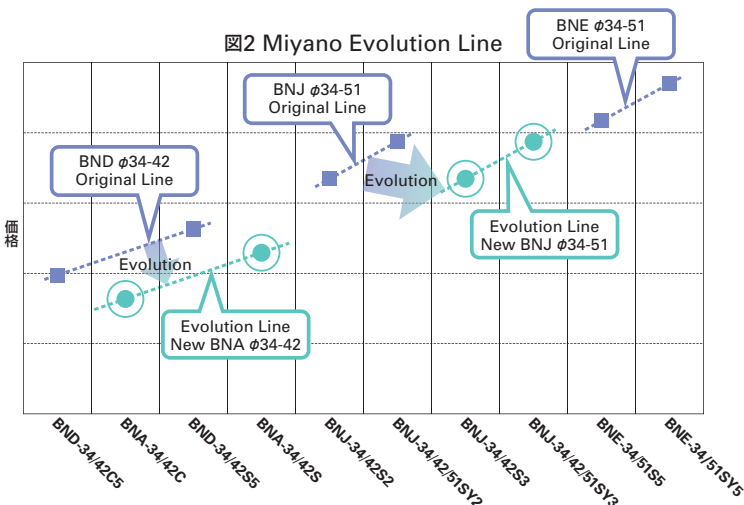
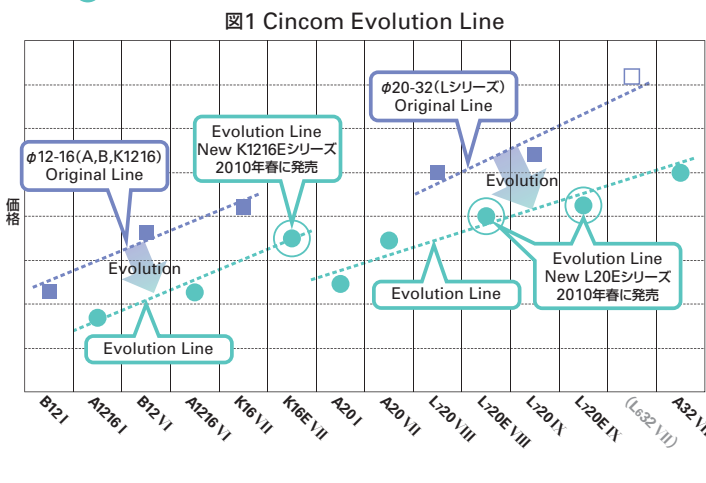
K12/16Eでは、従来機で実績と定評のある山形のツールレイアウトを採用、ツール交換時間を削減しています。また、独立した背面刃物台の搭載により正面・背面の並列加工が可能、シンコムコントロールを活かしてサイクルタイムを短縮します。

■くし刃刃物台回転工具はクイル式で簡単に交換でき、多彩な2次加工に対応

くし刃刃物台の回転工具は簡単に交換することができるクイル式で、4本まで取付け可能。ツーリング工具には外周ミリングスピンドルのほか、両端面穴あけスピンドルやスリッチングスピンドルを準備、オプションの背面刃物台回転工具駆動装置の搭載で、背面側の端面偏芯穴あけ加工やスリ割り加工にも対応可能です。また、長時間の安定稼働や、機械の長寿命化を実現するさまざまな対応・工夫も活かされています。

わかりやすい画面表示で操作性も大幅に向上

L20E、K12/16Eは、ともに最新のNC装置により起動時間や画面切り替えの時間を大幅に短縮。イラストによるわかりやすい画面表示や、一旦停止後の編集作業・運転再開、スムーズなプログラム作成に有効な実機チェック機能、わかりやすいプログラム編集機能、引数の説明まで含めたG/Mコードの一覧表示など、そのとき必要な画面表示でオペレータを支援します。



徹底的なムダの排除から生まれた 省スペース・高コストパフォーマンスマシン、 信頼のミヤノBNAシリーズ誕生。



世界的な経済不況とともに市場構造・産業構造の変化が進む日本のモノづくり業界。時代の変化と大きなうねりのなかで、ミヤノはシチズンマシナリーとともにEvolution(進化)を製品開発の基幹コンセプトに、BNシリーズのA(エース)となるBNAシリーズを開発・発売しました。

新たに誕生したBNAシリーズの開発は、部品加工にあたるお客様の具体的なご意見やご要望をさまざまな角度からきめ細かく伺い、製品に反映することから始まりました。徹底的なムダの排除により、従来のBNシリーズに比べ大幅な省スペース化を実現。コンパクトで高効率なマシンとなっています。高精度・高機能であると同時に作業性も大幅に向上。生産性はもちろん、お客様のニーズに応える高コストパフォーマンスを実現しました。ミヤノならではの主軸台固定形NC自動旋盤として、バー材加工機のスタンダードをめざし、これまでのお客様、そして新たなお客様に、新しい時代の市場ニーズに的確に対応するマシンとしてご活用いただけることと思います。

2スピンドルのSタイプ、 1スピンドルのCタイプをラインアップ

1タレット1スピンドルのCタイプにBNA-34CとBNA-42Cをラインアップ。それぞれ最大加工径φ34mmとφ42mmまでの主軸固定加工作業を効率的に行えます。また、Sタイプはメインスピンドルに加え、サブスピンドルを搭載。これにより背面加工が可能になり、さらに高効率な2次加工を実現します。

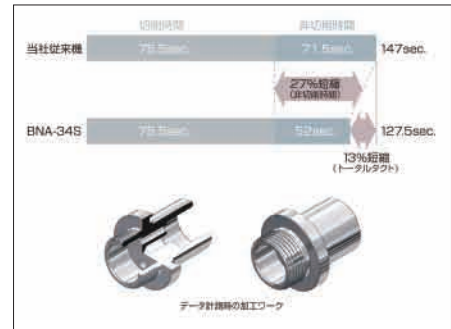
最大加工径φ34mmのBNA-34Sと、最大加工径φ42mmのBNA-42Sをラインアップし、お客様の加工ニーズに合わせて選択することができます。

タレットは小まわりがきき、 豊富なツールが取付可能

タレットはきめ細かい作業が可能であり、仕様は従来の8角でありながら、ハーフ割出機構を用いることで最大16ポジションにツールを取付け可能です。複雑な加工が求められるワークにもツール不足を感じずに、スムーズな作業が行えます。また、単独駆動方式の回転工具によりトルクロスをなくしました。

非切削時間を大幅に短縮、 優れたコストパフォーマンスを実現

Sタイプはサブスピンドルの搭載により背面加工が可能となり、非切削時間を短縮した制御技術と併せ、製品の完品化とムダの排除を実現



現。優れたコストパフォーマンスを提供します。ミヤノ独自の制御方式により非切削時間を約27%短縮(当社従来機比)、トータルタクトでは約13%の時間短縮を可能にしました。Cタイプは多機能なタレットはそのままに、メインスピンドルのみのシンプルな構造とし、よりいっそうのコストパフォーマンスを發揮します。

作業効率を高める 多彩な支援ソフト

■SタイプにB軸任意点制御ソフトをプラス
2次加工へのアプローチをB軸の任意点で行えるので、サブスピンドル側オフセット設定時にB軸位置の配慮が不要となりました。無駄な動きを排し、タレットインデックスごとに1次加工から2次加工へスムーズに移行でき、切削時間の短縮に貢献します。

■作業性と使いやすさをサポートする加工 支援画面

マシンの表示画面は、用途に応じて加工データ、工具セッティング、工具カウンタ、サイクルタイムなどの各種設定が可能。必要な情報データを取得しながら作業にあたり、作業効率のアップに貢献します。

CタイプにX/Y芯出し可能な テールストック・オプションを設定

Cタイプでは、オプションで選択可能な、X/Y方向の芯出しができる油圧直動方式のテールストックを用意。ライブセンターサイズはMT2となっています。テールストックの先がワークのセンター穴に挿入される寸前で減速・減圧できるので、穴の拡張がなくて安心です。

加工したワークを安全に取り出し、 搬送するために

BNAシリーズでは、加工ワークを傷つけることなく取り出し搬送するオプション機能を用意。ワークを傷つけることなくキャッチし受け渡すパーツキャッチャー、受け取ったワークをスムーズに機外へ搬送するパーツコンベアーが設定可能です。

目次 Contents

[巻頭特集] シチズンマシナリー&ミヤノ 両社長メッセージ 02

変貌する時代と市場環境をとらえ、お客様に、 新時代のソリューションを。

新たなソリューションで生産システムを革新する`新・モノづくり企業、へ`
◎杉本 健司：シチズンマシナリー株式会社 代表取締役社長
新時代の到来に向けて——お客様、そして私たちの変革の時
◎齊藤 佳春：株式会社 ミヤノ 代表取締役社長

Evolution & Innovation とは 04

Evolutionとは、環境の変化に柔軟に対応すること—それが「進化」。 Innovationとは、自らがビジョンを持ち新たな環境を創造すること—それが「革新」。

シチズンマシナリー Evolution対象機紹介 05

シンコムエボリューション ラインL20E、K12/16E。 開発機も、開発のあり方も進化の方向へ—シンコムの提案です。

ミヤノ Evolution対象機紹介 06

徹底的なムダの排除から生まれた省スペース・高コストパフォーマンスマシン、 信頼のミヤノBNAシリーズ誕生。

シンコム製品 累計出荷台数5万台達成



CREATIONご愛読者をはじめとした、日本国内はもちろん、世界各国のたくさんの方々によるシンコム製品の長年のご愛顧により、お蔭様を持ちまして2010年1月26日の「M32V型」出荷で、1970年の事業発足時は大きな目標であり、「夢」と考えておりましたシンコムの累計出荷台数5万台を達成いたしました。対象機の出荷にあたり、シチズンマシナリー本社工場の全社員参加で「累計出荷台数5万台達成」記念式典を開催しましたこと報告申し上げます。シンコムシリーズは、1971年2月に第1号機となる「D16」の出荷を開始して以来、オイルショック、バブ

ル崩壊、リーマンショックなどの幾多の不況を克服しながら出荷台数を順調に増やし、1990年の1万台、1997年の2万台、2001年の3万台、2006年の4万台を経て事業開始後40年で創業当初の「夢」を実現するに至りましたが、これにおごれることなく今後も国内外の販売活動を通じて日々変化するお客様のニーズに応える新製品のラインアップや、サービスの向上をいっそう強化し、1台1台の積み重ねを続け、6万台、7万台を次なる通過点として、累計出荷台数10万台の早期到達をめざしてまいりますので、いままでも同様、お客様からのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

会社を明るく元気に ひまわり活動



- ◎コミュニケーション・環境改善・社会貢献
“社員が元気で明るい会社”“社会・地域から見て活気を感じてもらえる会社”を目標に展開する「ひまわり活動」。昨年度の多彩な活動をご紹介します。
- ◎家族もいっしょにバーベキュー
家族にも会社の雰囲気を見てもらえる家族参加の

- バーベキュー大会を実施、好評を博しました。
- ◎社員の交流を深めるパーティーや挨拶運動
社員どうして部署と顔を覚えてもらう意味も含めて、部署ごとに朝夕の挨拶運動を展開。また、クリスマスパーティーや納会などの催しも開催。
- ◎ゴミ分別講習で社会・環境への配慮を促進
地域社会・環境に、より深い配慮を。ゴミ分別講習などの活動を関係者の協力で行って来ました。
- ◎海外拠点からの研修生とランチミーティング

- 直接会って話すとお互いの人柄や海外拠点の様子も身近に。仕事の話だけでなく普段の生活や文化の話題で盛り上がりました。訪日の思い出としても大変有意義でした。
- これからも社内の活性化と、地域・社会に貢献する会社文化を育てていきたいと思っております。私たちの明るさや活気を通じて、お客様にもさらに元気になっていただければと願っています。



朝の挨拶運動風景



クリスマスパーティーでの一コマ



納会での一コマ



ランチミーティング参加者からのメッセージカード

シチズンマシナリー・ ミヤノ共催イベント 情報

CITIZEN MACHINERY and MIYANO
Event Information

- ◎Eastec 2010 /日時:5月25日(火)~27日(木) /場所:ウエストスプリング(アメリカ)
- ◎Mach 2010 /日時:6月7日(月)~11日(金) /場所:バーミンガム(イギリス)
- ◎ミヤノ80周年記念内覧会 /日時:6月11日(金)~12日(土) /場所:株式会社ミヤノ 福島本社テクニカルセンター(日本)
- ◎IMTS 2010 /日時:9月13日(月)~18日(土) /場所:シカゴ(アメリカ)
- ◎AMB 2010 /日時:9月28日(火)~10月2日(土) /場所:シュツットガルト(ドイツ)
- ◎JIMTOF2010 /日時:10月28日(木)~11月2日(火) /場所:東京ビッグサイト(東京)

CITIZEN
Micro HumanTech

Cincom

Cincom Evolution Line

シンコム エボリューションライン誕生。

優れた機能と総合力を時代のニーズに最適化。
要求されるコストパフォーマンスを実現。



シチズンマシナリー株式会社 URL:<http://cmj.citizen.co.jp/> E-mail:cincom@citizen.co.jp

営業本部	〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6	Tel.0267-32-5901 Fax.0267-32-5908
東日本営業所	〒359-0001 埼玉県所沢市下富840	Tel.04-2943-6363 Fax.04-2943-6660
東北営業所	〒981-3117 仙台市泉区市名坂字野蔵36-1 ストックコートII 302	Tel.022-773-6870 Fax.022-773-6873
諏訪営業所	〒392-0012 長野県諏訪市四賀赤沼1642-1Mビル2F	Tel.0266-57-2225 Fax.0266-57-2226
名古屋営業所	〒457-0841 名古屋市南区豊田1-26-5 ミヤノビル3F	Tel.052-698-7552 Fax.052-694-0227
西日本営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-13-9 新大阪MTビル1号館内	Tel.06-6306-5621 Fax.06-6306-5631
ASIA SALES DEPT.	4107-6 Miyota, Miyota-machi, Kitasaku-gun, Nagano 389-0206, JAPAN	Tel.0267-32-5961 Fax.0267-32-5928

「感動価値」生産

響きあう心、かよいあう技術。